スケート 全日本ショート

女子1000 姉・仁美制す

斎藤 初の五輪

弟・慧も

女子1000㍍を制し、初の五輪代表入りを決めた斎藤仁美＝名古屋市ガイシプラザ

スピードスケート・ショートトラックの平昌冬季五輪代表最終選考会を兼ねる全日本選手権最終日は17日、名古屋市ガイシプラザで男女の1000㍍、3000㍍が行われ、女子1000㍍を制した斎藤仁美（オーエンス）が弟の慧（神奈川大）とともに初の五輪代表入りを決めた。

男子は既に代表入りを確実にしていた吉永一貴（愛知・名古屋経大市邨高）が2大会ぶりの総合優勝を飾った。女子は菊池悠希（ANA）が初の総合優勝を果たし、代表入りした。

吉永は五輪開幕時に18歳193日となり、1994年リレハンメル五輪に出た寺尾悟より9日若いショートトラック日本男子最年少五輪代表となる。代表は男女各5人で、男子は総合2位だった横山大希（トヨタ自動車）ら、女子は18歳の神長汐音（長野・小海高）や3大会連続代表入りとなる伊藤亜由子（トヨタ自動車）が名を連ねた。

18歳吉永「結果残す」

○…18歳の吉永はショートトラック男子で日本史上最年少五輪代表となったが「これまでの最年少と」誕生日が数日違っただけ」とあまり関心はない様子。有望株は「出るからには結果を残す。（五輪では）自分なりの攻めたレースをする」と初の大舞台をにらんだ。

16歳だった2016年1月の全日本選手権で史上最年少総合優勝を達成し、名を上げた逸材。伸びのある滑りに、今春から韓国に武者修行して持久力も手に入れた。今季ワールドカップ（W杯）の個人種目は苦戦続きだったが「日本は強いぞ」というのを証明したい」と気迫を前面に押し出した。

前回代表3人敗れる

○…前回五輪の代表は男女計3人が争いに敗れた。男子で27歳の坂下（トヨタ自動車）は「来年のことは分からないが、最後まであがけたのは人生の財産になる」と引退も検討している様子。女子で3大会連続の五輪を目指した30歳の酒井（保健科学グループ）は「この後ゆっくり考えたい」とだけ口にした。

25歳の菊池萌（稲門ク）は姉と妹が代表入り。「協力できることはしたい」と話し、自らは「4年後も目指したい」と現役続行に意欲を示した。

ショート五輪日本代表

ショートトラックの平昌冬季五輪日本代表は次の通り。

▽男子　坂爪亮介（タカショー）吉永一貴（愛知・名古屋経大市邨高）横山大希（トヨタ自動車）渡辺啓太（阪南大職）斎藤慧（神奈川大）

▽女子　菊池純礼（トヨタ自動車）斎藤仁美（オーエンス）神長汐音（長野・小海高）菊池悠希（ANA）伊藤亜由子（トヨタ自動車）

メダルを取りたい

斎藤仁美の話　五輪はスケートを始めた頃からの夢だった。一丸となってメダルを取りたい。（弟の慧も代表入りし）ちょっと照れくさいので、こっそりハイタッチした。

2カ月で調子上げる

斎藤慧の話　ここから2カ月で調子を上げたい。仲間を信じ、結果を残したい。（代表入りした姉の仁美は）お互いに高め合える存在。

斎藤仁美（さいとう・ひとみ）17年世界選手権3000㍍リレー3位。神奈川大出、オーエンス。152㌢、47㌔。27歳。相模原市中央区出身。

斎藤慧（さいとう・けい）13、14年の世界ジュニア選手権で3000㍍リレー3位。神奈川大。163㌢、61㌔。21歳。相模原市中央区出身。

ショートトラックの平昌五輪日本代表に決まった（前列左から）伊藤亜由子、神長汐音、菊池純礼、斎藤仁美、菊池悠希。（後列左から）斎藤慧、横山大希、坂爪亮介、吉永一貴、渡辺啓太